

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|---|-------|-------|
| 1 | <p>【当社ホームページ公表データの誤記載について】</p> <p>2020年6月25日に当社ホームページ(公表資料-ニュースリリース)で「福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備(C)吸着塔9C入口カップリング部からの漏えいについて」を公表した際、既設多核種除去設備の運転時の定例分析値の単位を「Bq/L」で表記するところ、「10^{-3}Bq/L」と誤記載。</p> <p>放射能濃度分析結果(単位「10^{-3}Bq/cm³」)を公表資料へ転記する際、単位を「Bq/L」とすべきところ、変換を誤り、「10^{-3}Bq/L」としたもの。</p> <p>公表資料については7月1日に訂正済み。</p> <p>今後、再発防止対策を検討。</p> | G II | 6月30日 |
| 2 | <p>【増設多核種除去設備 処理水受入タンク(2)入口弁フランジ部からの水の滴下について】</p> <p>協力企業作業員が増設多核種除去設備 処理水受入タンク(2)入口弁フランジ部から、1分に1滴の水の滴下を確認。</p> <p>運転中の増設多核種除去設備(A)を循環待機とし、処理水受入タンク(2)への処理水受入を停止したところ、水の滴下は停止。</p> <p>増設多核種除去設備の運転は、処理水受入タンク(1)を使用して運転継続可能。</p> <p>今後、当該フランジ部を開放し、原因調査を実施。</p> | G III | 7月1日 |